



新児童会執行部員へ バトンタッチ

先日行われた児童朝会において、児童会執行部と各委員長の新旧引き継ぎを行いました。

児童会長 佐々木航侑くんを中心に、児童会スローガン「明るく 仲良く 笑顔の絶えない大迫小」を掲げ、様々な取組を行いました。子どもたちが役割を分担し、感動と達成感を味わうことができた運動会、学習発表会を思い出します。さらに、日常生活が充実できたのは、図書、保健、体育、放送、給食、ボランティア委員会の日常の活動に責任をもって行ってくれたからです。これからは、児童会長 瀬川岳都くんを中心に新児童会執行部や各委員長のみんながどんな活躍を見せてくるか期待しています。新メンバーの抱負を紹介します。

新児童会執行部と委員長からのメッセージ

会 長 瀬川岳都（5年）

みんなが仲良くいじめのない
学校にしたいです。

副会長 伊藤六夏（5年）

委員長や執行部をサポートできるように
がんばります。

副会長 小原田風優（4年）

副会長として大迫小学校を引っ張って
いけるようにがんばります。

副議長 伊藤愛空（4年）

みんながなかよくなれる学校をめざし
てがんばります。

書 記 藤原李空（4年）

みんなが見やすいと思える字で書きた
いです。

議 長 佐藤愛（5年）

みんなの聞きやすい声で進行できるよ
うにがんばります。

放 送 園田弘也（5年）

ゆっくりはっきり時間を守って放送で
きるようにがんばります。

健 康 佐藤瑠絢（5年）

大きな声で話し、委員会活動を進められ
るようにがんばります。



給 食 八重樫琉生（5年）

みんなの聞き取りやすい声で発表す
るようにがんばります。

体 育 藤根清士朗（5年）

みんなが運動を好きになるようにガ
ンぱります。

図 書 高橋仁（5年）

本をたくさん借りてもらえるように
がんばります。

ボランティア 川村奏太（5年）

みんなにたくさんボランティアをし
てもらえるようにがんばります。



大迫カルタ大会 緊張感が張り詰める体育館

今年も伊藤誠様をお迎えし、全校児童で大迫カルタ大会を開催しました。

大迫カルタが始まってから今年で 50 年を迎えます。どういう経緯ではじまったかその当時を知っている方はいないそうです。ただ、今の活性化センターを会場に地域の人たちが大勢集まり大迫カルタ大会を行っていたとお聞きしました。



- ㊦ ウスユキソウが とりもつ縁で 姉妹都市
- ㊦ 亀ヶ森 玄蕃は 八幡館の主
- ㊦ 山伏の 名ごりをとどめて 宿六坊

大迫カルタを読むと大迫地区（大迫、外川目、内川目、亀ヶ森）のことを知ることができます。

大会に向けて学級内でも練習します。学童クラブでも活動に大迫カルタを取り上げてくれています。低学年の子どもたちもカルタに慣れて、大会本番では、高学年に交じって我先にカルタに飛びついていました。

親子行事などで大迫カルタ大会を企画し、交流しコミュニケーションを図ってみてはいかがでしょうか。盛り上がること間違いなしです。

宿場の雛祭り ～雛巡りと紙芝居～

4年生（16名）は、大迫宿場の雛まつりを満喫しました。3グループに分かれてお店に飾ってあるお雛様を見て回りました。ひなボランティア（山影孝子さん）の案内で私は川原町コース（かわむら衣料店→桜井写真館→柳田呉服店→川原町公民館→近村酒店→活性化センター）に同行しました。活性化センターに集合し、雛人形のお話を聞き、雛まんじゅうときりせんしょをいただきました。午後からは3年生（16名）が活性化センターのステージで大型紙芝居を行いました。読み聞かせボランティア（タンポポの会）の方々から指導を受けて、方言での話に会場の人たちも笑顔で聞き入っていました。この体験を通じて、子どもたちは、大迫の魅力に気づいてくれたと思います。

